

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔土産〕 （経営者）	・旅行客の服装や表情が明るくなっており、土産物や飲食に費やす金額も増加している。この傾向は半年以上継続しており、今後も良くなる。
		旅行代理店（経営者）	・高単価商品が売れやすくなっており、良い傾向にある。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・トリノオリンピック、ドイツワールドカップの開催に向けて、デジタル家電が伸びる。ただし、単価の低下が著しいため、期待ほど伸びない可能性もある。
		商店街（代表者）	・大企業の景気が良くなっているようであるが、観光関係や土産品販売はそれよりも若干遅れて上昇する。
		一般小売店〔贈答品〕 （経営者）	・製造業で働く客がかなり戻ってきており、来客数は今後も増加する。
		百貨店（企画担当）	・宝飾品、バッグなど高額商品の動きがやや活発になり、また久しぶりに労働者の給料のベースアップが予想されるため、今後の消費はさらに活発になる。
		百貨店（企画担当）	・売上増の月が続いており、消費動向は回復過程にある。
		百貨店（外商担当）	・客の購買意欲は確実に向上してきている。今後は単価が伴ってくるため、売上も伸びる。
		スーパー（店長）	・単に安い商品だけではなく、上質、珍しいといった商品の動きも見られるようになっており、今後も徐々に単価の回復が望める。
		スーパー（営業担当）	・来客数は前年比増で推移しており、買上点数、単価もこの先改善する見通しである。
		スーパー（仕入担当）	・節分、ひなまつり、バレンタインなど季節の祭事が続くが、節分豆は例年売り切れ気味であり、恵方巻きの巻きずしも最近東海地方でも定着してきたため、販売目標をそれぞれ前年比150%に設定している。
		コンビニ（エリア担当）	・おにぎり、弁当などが回復している。それ以外は変わらないが、一番回復して欲しい主力商品が回復しているのは良い傾向である。
		コンビニ（店長）	・飲食店の動きが堅調であり、今後飲料の売行きが伸びる。
		衣料品専門店（企画担当）	・衣料品のデフレ傾向に歯止めがかかっている。販売量は横ばいで推移しているため、今後は単価が上昇し売上も伸びる。商材によりばらつきはあるが、消費者の購買意欲は上向いている。
		家電量販店（店員）	・地上デジタル放送の認知度が上がり、対応機種の価格も手頃になってきているため、テレビの売上が伸びる。
		家電量販店（店員）	・2月にはトリノオリンピック、6月にはワールドカップがあり、大型画面のプラズマテレビや液晶テレビの需要がますます増える。
		家電量販店（店員）	・単価は横ばいを維持しており、最悪期を脱して緩やかな回復基調にある。
		乗用車販売店（従業員）	・やり方によっては利益を上げられ、商売ができる雰囲気になってきている。全体的に良い兆しがみられる。
		乗用車販売店（従業員）	・3月決算に向けて店舗に活気が出ている。来客数の確保と商談件数の増加に期待が持てるため、新型車に引張られたこの勢いがしばらく続く。
		乗用車販売店（従業員）	・高額な新型車が大変な勢いで売れているが、高価格帯商品の売上が好調なのは、今後良くなる兆候である。
乗用車販売店（従業員）	・客の動きが活発であり、工夫次第で今後販売増になる手ごたえがある。		
住関連専門店（店員）	・多少高い商品でも売れるようになっており、今後良くなる見込みがある。		
住関連専門店（営業担当）	・法人、個人とも上向きで、新設、リフォーム工事が増加傾向にある。		
一般レストラン（経営者）	・忙しい、仕事が増えたという客が増えており、今後も良い傾向が続く。		
旅行代理店（経営者）	・前年比130～140%の予約が入っている。		
旅行代理店（従業員）	・年初から好調な企業が多く、職場旅行や視察、研修旅行の依頼が増える傾向にある。また、個人に関しても、春先の行楽シーズンの団体旅行に期待が持てる。		
テーマパーク（職員）	・昨年後半以降来客数は増加傾向にあり、今後も引き続きこの調子が続く。		
ゴルフ場（経営者）	・コンペの開催数が増加傾向にある。		

	ゴルフ場（企画担当）	・今冬は寒さが厳しくプレーヤーの出足が良くないため、反動で3～4月の入場者数は増加する。ただし、料金が安くなっているため、売上増までは難しい。
	その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・年初の動向から判断すると、入校者の増加が見込まれる。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・受注残があり、見積などの引き合いも多数ある。
変わらない	商店街（代表者）	・1月に単価が伸びていないので、経験上ここ数か月は良くなることはない。
	一般小売店〔文房具〕（店員）	・増税懸念もあり一部の人以上はこの先も生活の向上は望めないようで、現状がしばらく続く。
	百貨店（売場主任）	・目玉商品を売り出す改装前バーゲンなどは大変好調であるが、通常のバーゲンは好調が長続きせず、例年並みに戻りつつある。
	百貨店（企画担当）	・ファッション関連の需要は近年ないほど高まっており、ここ数か月は今の状態が継続する。
	百貨店（経理担当）	・12月から1月初めにかけての勢いが月後半には減速しており、横ばいに戻りつつある。
	スーパー（経営者）	・来客数、客単価とも悪化傾向にある。
	スーパー（店員）	・半年前から個人の買物点数が3、4点から1、2点へと減少する傾向が続いており、この傾向は今後も続く。
	コンビニ（エリア担当）	・単価が下げ止まらない状況であり、それに加えて期末に向けて競合店が集中出店する予定もあり、今後も厳しい状況が続く。
	乗用車販売店（経営者）	・問い合わせ件数や客の年齢層、エリアといった指標に偏りが見られ、今後も引き続き厳しい。
	高級レストラン（スタッフ）	・1月半ば以降、来客数の前年比伸び率が少し弱くなっている。特に下旬の販促イベントに対する客の反応が弱いのが、今後に向けて気掛かりである。
	一般レストラン（経営者）	・平日の来客数は増加傾向にあるが、週末の来客数は減少傾向にあり、全体的には今後も変わらない。
	スナック（経営者）	・客の話では、ゴルフコンペや忘年会、新年会など今まで控えられていた行事が復活してきているため、歓送迎会の時期にも例年より来客数が増えることが見込まれる。
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・東北地方の大雪の影響で、この先食材の高騰が懸念される。
	観光型ホテル（スタッフ）	・披露宴の開催件数はあまり多くなく、規模も内輪のお祝い形式が好まれて小規模化してきている。
	都市型ホテル（従業員）	・予約数の動きは例年とほとんど変わらない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・当地区の企業活動の動きは依然として活発で、レストランなど飲食部門もこれまで通りの好調を維持できる。
	タクシー（経営者）	・年が明けても客数は少なく、春休みに向けての動きも見られない。
	タクシー運転手	・12月には期待を持っていたが、年明けには元に戻ってしまったため、2、3か月先も景気が良くなるとは考えられない。
	通信会社（企画担当）	・競争環境はますます厳しくなっているが、問い合わせもコンスタントにあり、現在の状態はまだ続く。
	通信会社（サービス担当）	・年度末は売上も増えるが、今の様子から判断すると例年並みの動きである。
テーマパーク（職員）	・来客数、予約状況から判断すると、2、3か月先もあまり変わらない。	
美容室（経営者）	・現状では割引等のサービス目当てで店を動いている客が多く、今後もそれほど変動はない。	
設計事務所（経営者）	・住宅案件は依然として低調であるが、企業の設備投資案件が安定しており、全体としてみると今後もあまり変化はない。	
住宅販売会社（従業員）	・構造計算の偽装問題の影響で、マンション購入をしばらく控えるという人が増えている。ただし、賃貸マンションの需要が伸びることも考えられ、全体としては変わらない。	
やや悪くなる	乗用車販売店（経営者）	・今月の販売量が予想以上に多かったため、2、3か月先これより増えるとは思えない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・2、3か月先の予約状況はあまり良くない。
	設計事務所（職員）	・構造計算の偽装問題からの立ち直りには時間がかかる。

	悪くなる	一般小売店〔時計〕 (経営者) 美容室(経営者)	・駅前商店街にある大型ショッピングセンターが閉店するため、今後は集客力が落ちて来客数が減少する。 ・このところ売上がどんどん減っており、今後もっと下がるのではないかと不安がある。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業(企画担当)	・当社や取引先の小売業の販売数量は、対前年で増加傾向にある。ただし、販売単価は依然として低下傾向にあり、製造原価は上昇傾向にあるため、やや良くなる程度である。
		紙加工品〔段ボール〕 製造業(経営者)	・当社の売上の半分を占める自動車関連の得意先が、好調を維持している。その一方で、食品、事務機器関係の取引先は不安定であり、全体としてはやや良くなる程度である。
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	・3月決算の店舗、企業のいくつかで、新年度から新しい動きがありそうである。
		化学工業(人事担当)	・各社とも体質強化が図られており、少々の円高等でも対応できるようになってきている。
		窯業・土石製造業(社員)	・最近になり納期の前倒しの話も出始めており、来月あたりから回復が期待できる。
		鉄鋼業(経営者)	・顧客の生産計画は4月以降も好調で、受注量は増加しそうである。
		一般機械器具製造業 (経理担当)	・見積案件が注文につながり始めている。
		輸送用機械器具製造業 (統括)	・主力取引先の再建が少しずつ軌道に乗っており、明るい兆しが出ている。
		建設業(経営者)	・企業の設備投資の動きは、来期も引き続き堅調である。
	輸送業(エリア担当)	・例年なら今の時期の荷動きは停滞するところであるが、今年はその傾向にないため、このまま上り調子になる。	
	金融業(従業員)	・近いうちに大きなお金を投資したいという客層が増えてきている。	
	変わらない	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・窯業界の先行指標となる新規住宅着工件数は、微増ながらほぼ横ばいにある。
一般機械器具製造業 (販売担当)		・米国の自動車産業は設備投資に消極的である。日系自動車産業は元気であるが、昨年ほど大量の設備投資はみられず、受注量は全体的に横ばいか減少する。	
電気機械器具製造業 (経営者)		・非常に厳しい単価での受注が続いている中、価格見直しや値上げなどを依頼しても、取引先が受け入れる環境にはなっていない。逆に値下げ依頼を受ける場合もあり、今後も厳しい状況は続く。	
電気機械器具製造業 (経営者)		・国内販売は、販売量は増加傾向にあるが低価格化しており、売上は現状と変わらない。海外向けは、今後も変わらず堅調に推移する。	
輸送業(従業員)		・寒気の影響で消費財の荷動きが停滞していることに加え、燃料費の高騰と競争激化による運賃値下げも重なり、厳しい状況が今後も続く。	
輸送業(エリア担当)		・荷動きが良くなり、運賃も見直されつつあるが、燃料費の高騰やリミッターの取り付けなどの経費が増えているため、横ばいである。	
輸送業(エリア担当)		・通例なら月末月初の荷物量は増えるが、1月末の荷物量は予想より伸びていないことから、まだ横ばいが続く。	
広告代理店(制作担当)		・新規の取引先がほとんどなく、既存取引先の広告予算も変化がない企業が多いため、今後も変わらない。	
公認会計士		・原材料費の高騰や人手不足に伴う人件費の上昇などにより、中小企業の収益は圧迫されており、引き続き厳しい状況が続く。	
経営コンサルタント		・名古屋駅周辺など特定地域の物件は値上がりするが、それ以外の地域の物件は依然として値下がりが続く。	
会計事務所(職員)	・担当している中小企業の売上は増加しているが、その一方で原価の上昇や商品の低価格化が広がっており、利益面では厳しい状況が今後も続く。		
	やや悪くなる	建設業(経営者)	・受注件数が増えているにもかかわらず工事単価は非常に厳しい状態が続いており、今後もこの傾向が続く。
	悪くなる	金属製品製造業(経営者)	・原材料費の高止まりは今後も続き、利益を圧迫する。
雇用 関連	良くなる	アウトソーシング企業 (エリア担当)	・製造業は全般的に好調で、求人は依然としておう盛で人材確保が追いつかないほどである。
		学校〔大学〕(就職担当)	・保険、警備、旅行、ホテルなどのサービス関連から、物流関連、機械工具、システムエンジニアなどにいたるまで、求人する業種が広がっている。

やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・短期的な業務増加を人材派遣で対応しようとする企業が増えており、人材確保が追いつかない状況が今後も続く。
	人材派遣会社（社員）	・当地域では、正社員採用の引き合いが増えている。人材派遣業界は全体的に人手不足にあり、今後は待遇の改善も見込まれる。
	人材派遣会社（経営企画）	・大手企業のリストラが終了し業績も回復しているため、技術開発を担う派遣ニーズも引き続き高まる。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・非製造業が多い静岡県中部でも、転職フェアへの参加企業数が増える傾向にある。
	職業安定所（所長）	・今春卒業する高校生の内定率は高水準にあり、企業の新卒者採用意欲は高まっている。
	職業安定所（管理部門担当）	・人材育成に力を入れる企業が増え始めており、若年者採用に動きが出ている。新卒予定者はほとんど内定を得ており、新卒者以外の若年求人の動きも活発化している。
	民間職業紹介機関（経営者）	・求人の動きは自動車業界から他産業へ波及しており、銀行、新興企業など求人の裾野は広がっている。
	民間職業紹介機関（職員）	・求人数は引き続き増加する。ただし、登録者数の不足に悩んでおり、この状況は当分続く。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・求人注文は依然として多いが、条件が合わず採用に至らない状況が今後も続く。
	人材派遣会社（営業担当）	・正社員求人、派遣社員求人とも、現在かなり良い状況にあり、今後これ以上良くなるとは思えない。
	求人情報誌製作会社（企画担当）	・全体的に求人意欲は高いが、正社員雇用には力強さがなく、不安定な状況が続く。
	職業安定所（職員）	・採用されても賃金、福利厚生などの条件が合わず離職する者もあり、雇用情勢は依然として厳しい状況が続く。
	職業安定所（職員）	・求人数の増加傾向は続くが、賃金、労働条件は依然として変わらない。
やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・有効求人倍率は他地域と比べ最高水準にあるが、ミスマッチなどにより人手不足が解消されているわけではない。また、求人予算は当地域でも縮小傾向にある。
悪くなる	-	-